

夏の生活

○汗に注意！

赤ちゃんは大人より体が小さいのに、汗腺の数は一緒です。つまり、大人より汗腺が密集していて汗をかきやすいのです。大量に汗をかいた場合、汗腺が炎症を起こした、赤いブツブツが「あせも」です。濡れたタオルで拭き取ったり、シャワーで流すことであせも予防になります。



○赤ちゃんのいる部屋でクーラー使用は？

暑い時にクーラーで室温を下げて快適にする事は悪いことではありません。ただ、設定温度はどんなに外が暑いときでも、外気との差は5度以内にしておきましょう。また、赤ちゃんに直接クーラーの風が当たらないようにし、時々窓を開けて換気をしましょう。

○袖無しの服は着せててもよい？

確かに袖の無い服は風を通しやすく、涼しく感じますが、基本的には赤ちゃんには、夏でも袖のあるものを着せます。わきの下やえりぐりは汗をかきやすく、衣服の袖は汗を吸う役目を果たすのです。

また、クーラーのきいた部屋で肩を冷やす事もあるのでやはり、袖のあるものがいいですね。



風疹流行中！



風疹は、発熱・発疹・耳の後ろのリンパ節の腫れなどが主症状の病気です。合併症に関節痛、出血傾向、脳炎などがあり、「三日ばしか」とも呼ばれます。

年長児や、成人がかかると一般に重症になりやすいようです。妊婦さんが風疹にかかると、心奇形や白内障、聴力障害などをもった赤ちゃんが生まれてくることがあります。

～予防接種を受けましょう～

1歳～7歳半・12歳～16歳 →市の負担
無料で接種

☆昭和54.4.2～昭和62.10.1生まれの方は、経過措置対象者として、平成17.3.31までは市の負担により、無料で接種することができます。

上記の対象者以外の方は、有料になりますが接種する事はできます。

※風疹の大流行を防ぐため、まだ接種をされていない方は早めに済ませておきましょう。

大人の方の抗体検査、予防接種もできます。受付までお気軽にご相談ください。



～授乳コーナーやトイレをご利用の方へお願い～

診察待ちの方で、中待合室に呼ばれている方は順番がすぐにまわってきます。もし、トイレや、少しの間外へ出られるなど中待合室を離れる場合は、スタッフに声をかけていただけだと大変助かります。

また、診察が終わり会計待ちの方で、授乳コーナーを利用される方も受付に声をかけていただけますと、ゆっくり授乳を済ませたあとに会計ができます。よろしくお願ひいたします。

虫刺され



虫の唾液や毒に反応して赤くはれたり、水疱ができたり、かゆみを持ったりするのが虫刺されの症状です。一種のアレルギー反応で、蚊のような一般的な虫でも、赤ちゃんは抗体を持っていないので悪化しやすい傾向にあります。

予防は…

山や高原など虫に刺されやすい場所に出かける時は、長袖・長ズボンを着用し、なるべく肌を出さないようにしましょう。また、夏場外に出かける時は、市販の虫よけスプレーを利用しましょう。超音波の携帯虫よけ等も市販されています。

虫に刺されてしまったら…

すぐに石けんなどで洗い流して、患部を清潔にしてからすぐにかゆみ止めなどのお薬をつけましょう。氷水や冷たいおしぶりなどを当てて冷やすのも効果的です。

また、刺された所をかきこわして、とびひになることもあります。爪は短く切り、手はいつもきれいにしておきましょう。

蜂に刺されてショック症状を起こしていたり、発熱、吐き気がある時、かきむしって発疹が全身に広がった時などはすみやかに受診をしましょう。

★虫刺されの薬をいつも常備しておくと早く対応ができる治りが早くなります。

★予防接種・健診時にもお薬の処方ができます。虫刺されの薬、あせもの薬など気軽にお申し出下さい。



メールアドレス、お知らせください

当院では、予防接種のご案内やその他連絡などをハガキにておこなって参りましたが、今後は「メール」にてご案内を行う予定にしております。

携帯や、パソコンなど何かメールアドレスをお持ちの方で、さしつかえなければ、受付までお知らせいただけましたら幸いです。

院内の記入台の上に専用の用紙を置いておりますので、ご記入をお願いいたします。

☆メール配信は、今までのハガキと同様、必要時のみにおこないます。ご安心してお知らせ下さい。



今後の予定



6月 3日 (木)	院長、小学校へ健診のため 午後の診察は15時半～
10日 (木)	院長、小学校へ健診のため 午後の診察は15時半～
13日 (日)	小児科休日当番 (～17時まで)
25日 (金)	院長1歳6ヶ月児健診のため 午後の診察は15時半～
7月 19日 (月) 24日 (土)	海の日のため休診 夜間当番 (17時～23時)